



山口市阿知須地区編



昨年開催しました地域景観ワークショップへのご参加、ありがとうございました。

セミナーやタウンウォッチング、壁新聞作り・・・をフル活用しながら景観を発見する方法を習得する事は出来ましたか？

当日を思い出して周辺の景色を眺めてみたり、歩いてみたり・・・

そうすれば見慣れた風景の中にある魅力が発見できるかもしれませんよ？

開催日

10月22日(日)

場所

山口市阿知須
中村公民館

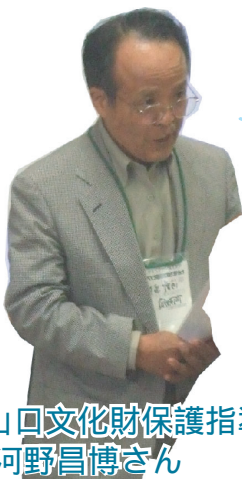
参加数

40名(6グループ)

地元在住の方、地元建築士、市外在住の方、大学生など多くの人が参加されました。



まずはじめに、地元プチ情報として「阿知須地区の歴史」について、山口文化財保護指導員河野昌博さんにお話をいただきました。



山口文化財保護指導員
河野昌博さん

地元プチ情報

阿知須は2つの川に抱かれた倉入地(直轄地)の表情が残る地区ですが水の便が悪く、開作し農地化をした。という歴史も残っているんです。
豊かな遠浅の海・・・その恩恵によって人口が増え、回船業を営む人も同じように増えていきました。

また子孫には苦労させたくないという思いが干拓を成功へ導いた。
「耕をして海へ至る」
この言葉の中にその思いが残っているんですね。

「景観セミナーとして、山口県景観アドバイザーの沼田登さん、岩田真次さんに、それぞれ「阿知須の美しい景観」、「阿知須浦のまちなみを考える」と題し、お話をいただきました。

阿知須の美しい景観

「味わう」

と表現されるように、景観は五感で感じるもの。

砂州、港、魚市場、祭り・・・生活に溶け込んだ風景(生活景)を大切にする事で素敵なコミュニティづくり、素敵なまちづくりへと繋がっていくんです。



山口県景観アドバイザー
沼田登さん

景観セミナー



山口県景観アドバイザー
岩田真次さん

阿知須のまちなみを考える

中川家再生工事は「土で記憶に残す」「できるだけ残す」この2つを基本方針に、家を持ち上げて悪い箇所を差し替えるという工法で行いました。

歴史的モニュメントにはそれぞれ意味があるんですよ？
時間と空間、歴史と風土を見つめながら阿知須という地域を考えてみましょう

「まち歩き」の前に、ワークショップの趣旨、プログラムについて説明を受けました。

How to 景観発掘 ?

発掘の前に・・・

大切なのは心構え。
セミナーで教わった

「五感で感じる」

という沼田さんの言葉を
もう一度確認して出発！！

地域固有の特性や歴史・
文化を知る事が発掘に
繋がる重要な手掛かり。
WSでは、河野さんから
お話し頂いたプチ情報を
頼りにまちを歩いてみよう。

予備知識

作ろう、発掘隊！！

一人で散策する事も良い
けれど立場の異なる人同士、
複数での散策はより効果的。
様々な情報・視点・知識を
持っている方々で発掘隊を
編制し、たくさんの地元の人と
接しながら情報を集めよう。

隊編成

今回は、6グループに分けられました。

地元のしか
分からない視点

景観構成要素の
建築からの視点

好奇心と
純粋な視点

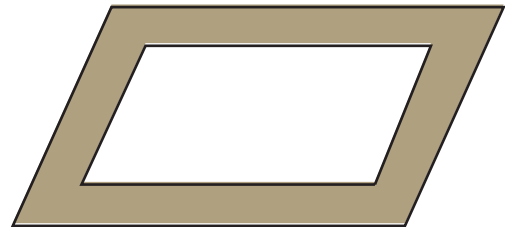
当たり前な良好景観
に気づく視点

地元在住の人 建築士 学生 市外在住の人

装備

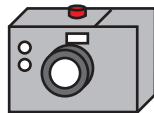
景観を切り取って見てみよう。
ファインダー越しに見るように、
この額を使うと・・・アラ不思議！！
素敵な景色がたくさん。

額縁



インスタントカメラを
使おう。現像や出力
などの時間がなくて楽チン。

カメラ

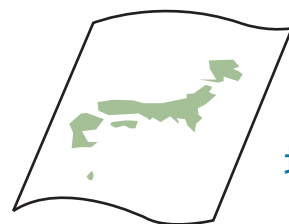


通っている道と地図を
照らし合わせながら
発掘場所やコメントを
書き込もう。



付箋

思った事や気づいた事、
何でもメモしておけば
壁新聞を作る時簡単に
まとめる事が出来るね。



地図

隊の中で役割を決め、上手に搜索しよう！！

いざ、「まち歩き」スタート！

発掘現場

自然の香りや人の温かさ・・・目に見えるものだけでなく、五感で感じ取れるよう心がけましょう。予備知識も活用してその地域ならではの歴史や文化を思いながら触れてみると景観が浮き出てきます。

近くで見たり、離れて見たり・・・
・・・じっと見つめたり、歩きながら見つめたりすることで、それぞれ違うものが見え、隠れた景観を発掘できます。
「季節が変わったらどんな風に見えるのだろう」
「こんな風な演出があったらきれいだろうな」
など。想像しながら見つめると楽しくなってきます。

6グループに分かれて、4つのエリアを散策。

それぞれのエリアにしかない特別なもの・・・

風景を魅力的に演出する様々な要素に出会う事が出来ました。

壁新聞を作ろう！！

発見された「まちの宝物」をグループごとに 枚の壁新聞にまとめました。

景観が個々の内にある時は共通認識はならず、形成にも繋がりません。

発掘された景観資源一つ一つが私達の財産。壁新聞を作って、多くの人と大切な財産についての想いを共有しましょう。



壁新聞を発表！！

各班より成果を発表しました。

「阿知須の中心地・商業の栄えたまち」

- イチオシはえびす様、そして北向き地蔵
- 阿知須は信仰を大切にしたまち、なんですね
- かくれんぼが出来る路地は子ども達の遊び場
- 再生されたけれど昔の香りが残る旧中川邸はとても印象的



4班

中村・西条エリア



5班



「石とレンガのさみしい町、音のない静かな風景」

- イチオシは灯笼。遠くからも近くからも素敵な風景
- 歩いてしっとりするまちだと感じます
- なまこ壁から江戸時代の香りが漂ってきた
- 音のない静かな佇まいが印象的でした



中村・西条エリア

「ひゅるりと風の見える散歩路地」

- イチオシはえびす神社から見下ろした風景
- 寺子屋のあった城の山は阿知須の文化発祥の地なのではないか
- 銭湯の佇まいはずっと残したい風景です
- 漁港から聞こえるセリの声が印象的だった



1班

東条エリア



6班



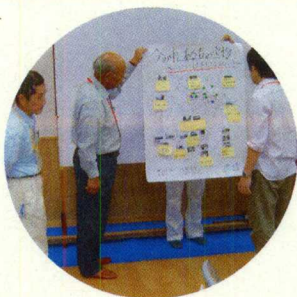
「小古郷ラビリンス」

- イチオシは水路を泳ぐ鴨
- 家と家の間を流れている水路に生活の一片が見えた
- 自給自足の畑は家からの水を運んでいるらしい
- 丘から見える美しい風景が印象的だった



小古郷エリア

2班



「今の中にある宝物いい仕事してますねえ」

- イチオシは高台から見えた仕事景観
- 昔の名残がある良い仕事をしている景観だと思う
- えびす神社は他にはない素晴らしさを持っている
- 対岸に見えた醤油屋がとても印象的だった



縄田エリア

「路地裏の風景」

- イチオシはみきり模様に入った白壁（なまこ壁）
- 一休みしたくなるような細い小路や路地裏
- 忍者も楽々登れそう！！な低い屋根に頭上注意の看板が！！
- 縄田地区の繁栄をしのばせる酒屋は印象的でした



3班

縄田エリア

